

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	漁港漁場整備課長 角 敬	電話番号	0852-22-5316
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	漁港海岸保全事業		
目的	(1) 対象	漁港海岸背後の住民および施設	
	(2) 意図	津波、高潮、風浪、その他海水又は地盤の変動による被害から防護するとともに、海岸環境の整備と海岸の適正な利用を図り、県土の安全度を高め民生の安定を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>海岸背後の住民の生命、財産及び公共施設等を津波、高潮、波浪等による被害や海岸侵食から守る。</li> <li>上記の防護と併せて、より海浜利用が進められる機能の整備を図る。</li> <li>上記のために、農山漁村地域整備交付金（海岸保全施設整備事業）を活用し、海岸保全施設（護岸、緩傾斜護岸、離岸堤、消波堤等）の新設、改良を行う。</li> <li>海岸保全施設の老朽化対策を計画的に進めるための長寿命化計画の策定及び対策工事を農山漁村地域整備交付金（海岸保全施設整備事業）を活用して行う。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	浸水想定区域面積	目標値	3.3	3.1	2.8	2.4	ha
	式・定義	浸水想定区域面積	取組目標値					
				実績値	3.4			
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	海岸保全施設の長寿命化計画策定率	目標値	13.0	65.2	95.7	95.7	%
	式・定義	計画策定済漁港海岸数/海岸保全施設のある県管理漁港海岸数	取組目標値					
				実績値	8.7			
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	89,637	49,567
うち一般財源 (千円)	6,082	10,846

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤今年度新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>高潮及び侵食対策はH25年度までに完了し、現在は越波及び飛砂対策と環境整備を目的とした大社地区海岸環境整備事業のみ整備中</li> <li>大社地区の越波による浸水想定区域面積はH27年度末で3.3haであり、事業が完了し浸水想定区域面積が0となるのはH37年度を予定</li> <li>県管理漁港海岸の海岸保全施設は、50年以上経過した施設がH26年時点で26%、20年後には60%まで増える。</li> <li>長寿命化計画の策定については、県はH26年度より着手したが、H27年度末の策定率は8.7%であり、市町はH28年度より着手予定</li> </ul>
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>H26年度に大社地区の海岸保全、飛砂対策による生活環境改善に向け、ワークショップを通じて地元住民の意見を取り入れながら事業計画を策定し、工事に着手した。</li> <li>これを受けて新たに成果参考指標を策定した。</li> </ul>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化計画の策定が遅れており、交付金の交付対象期間内に策定できるか不透明。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁港施設と異なり、農山漁村地域整備交付金での計画策定となり、予算確保が困難</li> <li>交付金ではH30年度までの策定が要件となっている。市町村で5地区海岸以上ある場合はH32まで。</li> <li>漁港施設の計画策定期間はH29年度までとなっており、これを優先させるため海岸保全施設については着手が遅れている。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交付金の予算確保とともに、交付金内の他事業との調整</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>県管理漁港海岸については、新たに成果参考指標を策定し計画的に実施する。</li> <li>市町管理漁港海岸については、期限内に策定するよう指導する。</li> <li>国に対して予算確保の要望を引き続き行う。</li> </ul>
--

9. 追加評価（任意記載）

<p>・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。</p> <p>・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
---